



みなと環境にやさしい事業者会議
minato eco-conscious consortium

2020年度活動報告書



ごあいさつ



港区長
武井 雅昭

みなと環境にやさしい事業者会議におかれましては、昨年、設立から15周年を迎えました。新型コロナウイルスの感染拡大により、企業活動に大きな影響のある中、「スポGOMI大会 in みなと」の実施や「企業と環境展」のリモート配信など、新しい日常の中でも、事業者・区民・区の協働の場となる様々な活動に積極的に取り組んでいただいております。これまでの活動に対し、厚く御礼申し上げます。

近年、気候変動との関連性が指摘されている自然災害の激甚化やプラスチックごみによる海洋汚染、脱炭素社会の実現に向けた動きなど、環境施策を取り巻く動向は大きく変化しています。

このような状況を踏まえ、令和3年3月、区では環境における総合的・横断的な施策を強化し、より効果的な取組を実施していくため、令和3年度から6年間で新たな計画期間とした「環境基本計画」を策定しました。めざす環境像「多様な暮らし・活気・自然が調和する 持続可能な都市 みなと」に向けて取り組んでまいります。

また、本計画では、「2050年までに区内の温室効果ガスの排出実質ゼロ」にすることを基本目標の一つとして位置付け、「ゼロカーボンシティ」の実現をめざしています。

今後は本計画に基づき、地球温暖化の防止のため、建築物の省エネルギー化や区民・事業者の省エネルギー行動の促進、再生可能エネルギー導入拡大などの取組を着実に進めてまいります。

会員事業者の皆様におかれましても、環境負荷の少ない社会経済活動への転換について、一層のご協力をお願いします。

今後も、会員事業者の皆様の環境問題解決に向けた取組を通じ、みなと環境にやさしい事業者会議の活動が益々発展されることを祈念いたします。



みなと環境にやさしい事業者会議
会長
港区副区長
小柳津 明

平成18年5月に設立されたみなと環境にやさしい事業者会議（mecc）は、日本の環境分野をリードする会員事業者の皆様とともに歩みを進めてまいりました。会員事業者の皆様には、事業者会議の運営に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、地球温暖化につながる二酸化炭素の排出を削減する脱炭素社会の早期実現に向けて、様々な取組を推進することが求められています。持続的な企業価値の向上の観点から、SDGsを経営の中に取り込む動きや、環境・社会・企業統治に配慮した経営を行う企業を重視・選別する「ESG投資」が広がりを見せており、事業者による環境への取組は大きく注目されております。

みなと環境にやさしい事業者会議の活動におきましては、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な事業が中止になりました。そのような中でも「企業と環境展」のシンポジウムや「みなとSDGs」のセミナーをオンラインで開催するなど、新たな手法に取り組み、環境に関する見識を深めてまいりました。

みなと環境にやさしい事業者会議は、大切な地球環境を守り、次世代に引き継いでいくため、区民、区、事業者の皆様と協力し、様々な事業に積極的に取り組む必要があると考えております。今後も、区を取り巻く状況を踏まえつつ、引き続き様々な取組を展開していきたいと考えております。皆様の一層のご協力をお願いいたします。

設立趣旨

21世紀に入り、異常気象の多発、北極や南極の海水の溶解、砂漠化の進行など地球温暖化の影響はますます深刻さを増しています。豊かな自然を守り、かけがえのない地球を次世代に引き継いでいくのは、わたしたちみんなの責務です。

利便さや快適さを求める大量生産、大量消費、大量破棄という社会スタイルを、市民、企業、行政をはじめとしたあらゆる個人、組織が、それぞれの立場で真剣に考え、環境にやさしいライフスタイルへと転換していく必要があります。

港区は、東京の中でも企業や各種団体の本部機能が集中しています。この特徴を生かして事業者と区民と区が連携し新しい協働の場を確立できれば、これまでにない環境保全活動の取組みとして「みなとモデル」を全国に発信することができるでしょう。ひとつの地域での取組みが、世界を変えていくほどのうねりになる。「みなと」という地域に集うわたし

たちのネットワークは、そんな大いなる可能性を秘めていることでしょう。そうした新しい連携を可能にする土台として「みなと環境にやさしい事業者会議」は平成18年5月に設立され、今年で16年目を迎えます。

「みなと」にかかわるすべてのパートナーシップの要として、生きた情報と知恵の受発信が行われる前線基地として、そして個々の事業者にとっては地域と地域環境への貢献を同時に推進できるひとつの拠り所として。業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場に、環境に対する互いの意識を高めあえる場に、そしてアイディアが次々とカタチになっていく活気のある場になりたいと思います。

この趣旨にご賛同いただけるひとりでも多くの事業者の方に仲間に加わっていただければ幸いです。わたしたちが手をたずさえることで生まれる力が、地球環境問題を根本的な解決にむかわせる希望となることを期待して。



2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった事業もありますが、様々な活動を後押しする魅力的なコンテンツを随時企画、提供しています。次ページから過去事例と共にmeccの持つ多様なコンテンツをご紹介します。



学ぶ

●meccツアー ●meccセミナー ●農業体験ツアー ●みなとSDGs

世界の動向を学び、一緒に考える場を提供しています。

近年CSRや環境問題だけでなく、SDGsの取り組みも拡大してきています。

国内外の最新動向を学べるセミナーや見学ツアーを企画し、
企業間だけでなく区民との情報交換や交流の場にもなっています。



様々なエコ・環境事例を 見て学べるツアー

meccツアー

ゴミ処理場やリサイクル施設、会員事業者の取り組みを実際に見学するオフィスツアーなど、学びの場だけでなく事業者同士の情報交換の場にもなっています。



<過去の活動事例>

◎海の森見学 (2016) ◎TBS「みつばちあ見学」(2017)
◎アクセンチュアオフィス見学 (2017)
◎昭和電工「プラスチック ケミカルリサイクル工場見学」(2019)

最新の動向を スペシャリストから学ぶ

meccセミナー

国内外の最新の動向を交え、企業が取り組むべき環境や社会活動に役立つ様々な分野のスペシャリストを招き講演いただいています。



<過去の登壇者>

◎末吉竹二郎 (2016) ◎蟹江憲史 (2017)
◎ベオ・エクベリ (2017) ◎田瀬和夫 (2018)
◎竹村真一 (2019)

身近な“食”から 環境を学ぶ体験型ツアー

農業体験ツアー

2019年度から千葉県にある有機栽培畑の一部を借り上げ収穫体験を行っています。フードロスや自然環境についての座学や循環型堆肥場の見学もできる体験型ツアーです。



<育てている作物>

◎とうもろこし200本 ◎じゃがいも20kg 他

SDGsの本質と可能性を 一緒に考える

みなとSDGs

持続可能な開発目標＝SDGsの17目標とそれを達成するための169のターゲットを学び、様々な事例紹介とともに実際に起こせるアクションをグループワークを通して考えます。



<取り扱いテーマ>

◎トレードオフ ◎海洋プラスチック
◎生物多様性 ◎SDGsウォッシュ



活動する

●エコバザー ●みなとクリーンアップ大作戦 ●みなと打ち水大作戦 ●スポGOMI大会 in みなと

小さな取組みも、連携すれば大きな活動に。

一社では取組みにくいことも、会員事業者の力が集まれば大きな活動へと変わります。

事前準備や当日の運営も事務局がバックアップ。

担当者の負担なく気軽に参加頂ける場を提供しています。



資源のリサイクルが 生み出す笑顔のリレー

エコバザー

会員事業者から洋服や日用品、書籍などを提供いただき、売上金を利用して港区内の施設に環境に配慮した製品の寄贈活動を行っています。



総売上げ 約 140 万円

<過去の活動事例>

- ◎エコライフ・フェア in MINATO (2006 ~)
- ◎みなと打ち水大作戦 ハマサイト会場 (2012 ~)
- ◎みなと区民祭り (2018 ~)
- ◎寄贈：港区内の幼稚園15箇所に積み木を贈りました。(2018年)

いつも歩いている道が 違って見える？

みなとクリーンアップ大作戦

通勤で利用する道がゴミを拾う目線で歩くと違って見えた、という感想を多く聞きます。身近な場所から始めるゴミ拾い活動。新入社員の環境活動の一環としてもご利用いただいています。



拾ったゴミ 1,100 kg ※過去9年間 45Lを比重1として換算

<過去の掃除エリア>

- ◎浜松町駅周辺 (2007 ~)
- ◎東京タワー (2012)

一斉に打ち水をする姿は 圧巻!夏の看板イベント

みなと打ち水大作戦

地球温暖化対策の取組みとして、日比谷通り、竹芝、赤坂、お台場など港区のランドマークで打ち水を行っています。水は港区の再生水や消費期限の迫った災害用備蓄水を使用しています。



総参加者数 1,690 人

<過去の会場事例>

- ◎お台場 (2006 ~ 2013, 2017, 2018) ◎東京タワー (2007 ~ 2011)
- ◎六本木ヒルズ (2008 ~ 2010) ◎白金高輪 (2010 ~ 2015)
- ◎日比谷通り (2010 ~) ◎汐留 (2011) ◎ハマサイト (2011 ~) ◎芝公園 (2019)
- ◎新虎通り (2016) ◎赤坂 (2012, 2016, 2019) ◎竹芝 (2019)

頭脳と体力をフル回転! スポーツ感覚でゴミ拾い

スポGOMI大会 in みなと

制限時間内に決められたエリアの中でゴミを拾い集め重量をポイント化して競う「スポGOMI大会」。会員事業者だけでなく、区民や学生、NPO団体なども参加できる地域連携イベントに発展しています。



総参加人数 475 人

<過去のゴミ拾い実績>

- ◎85kg (2014) ◎110.35kg (2015) ◎123.45kg (2016)
- ◎134kg (2017) ◎135.25kg (2018) ◎94.99kg (2019)



発信する

●企業と環境展 ●mecc EXPO ●グッドライフアワード ●みなとタバコルール

発信することで意識を高め、協働の場をイノベーションする。

企業の持つコンテンツや日頃の取組みを、
会員事業者だけでなく区民にも発信する場を提供しています。

展示や事例発表を通して会員事業者が協働で問題解決に挑むきっかけの場にもなっています。



会員事業者と区民を つなぐ環境イベント

企業と環境展

企業と環境展は、六本木ヒルズカフェを利用し会員事業者の取組みを区民へ発信し、区民に参加いただくイベントです。著名な講師を招いたシンポジウムや、会員事業者が提供する「親子環境ワークショップ」、「フォトギャラリー」や高校生から新社会人を対象にした「環境ビジネスアイデアソン」など、幅広い世代の区民にプログラムを提供しています。



区民総参加者数

930人

<過去の活動事例>

- ◎親子環境ワークショップ (2010 ~)
- ◎高校生環境ラジオCMコンテスト／
大学生ビジネスアイデアコンテスト (2012 ~ 2017)
- ◎U-25ビジネスアイデアソン (2018)



meccの活動を PRしました

グッドライフアワード

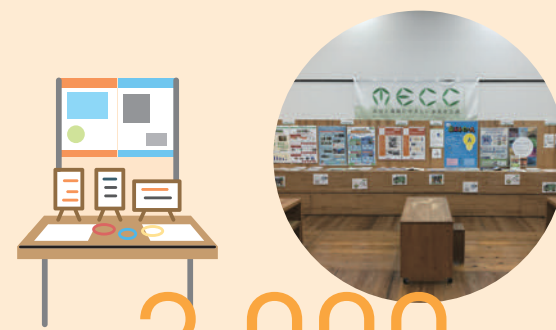
2015年12月、日本最大の環境展示会「エコプロダクツ2015」に併せ、環境省主催「第3回グッドライフアワード」が開催されました。環境に優しい社会の実現を目指し、日本各地で実践されている「環境と社会にいい暮らし」に関わる活動や取組みを表彰するものです。meccのこれまでの活動を応募したところ、155作品の中から実行委員会特別賞にノミネートされ「環境と地域づくり特別賞」を受賞いたしました。



会員事業者の取組みを 一堂に展示

mecc EXPO

会場となる港区立エコプラザは環境学習に特化した施設です。普段から区民や近隣企業向けに様々な環境ワークショップやセミナーを開催しています。環境に意識の高い来館者に向け、施設内の展示スペースを利用し会員事業者の取組みを紹介しています。



総観覧者数

2,000人

<過去の開催会場>

- ◎港区立エコプラザ (2016 ~ 2018)
- ◎みなとパーク芝浦 (2019)



港区と連携協力協定を 締結しました

みなとタバコルール

港区は平成26年に「みなとタバコルール」を条例化し、たばこを吸う人も吸わない人もお互いを思いやり、ルールとマナーを守ること、快適で笑顔の飛び交う街を目指しています。meccと港区がお互いに有する資源を活用し、みなとタバコルール推進の旗振り役として連携協力する協定を平成29年に締結しました。みなとクリーンアップ大作戦で啓発グッズの配布及び広報、スポGOMI大会で「みなとタバコルール賞」を設け広報、エコバザー会場ではリーフレットや啓発グッズの配布を行いました。



2020年度は
コロナ禍でも知恵を絞り
活動を行いました

J-WAVE主催 キャンドルナイトに初協賛!

「100万人のキャンドルナイト2020」に協賛をしました。キャンドルナイトは、照明を消し、キャンドルを灯して過ごすスローライフ運動の一つです。毎年、港区・増上寺で開催し多くの来場者で賑わいますが、コロナ禍によりオンラインにて開催。ラジオとオンラインイベントの連動で、meccとして、「キャンドルづくりオンラインワークショップ」に協賛しました。活動や会員事業者の紹介を行い、14日のオンラインワークショップ参加者は約50名でしたが、YouTubeのアーカイブは2,000回再生。21日は2,050名の観覧があり、同じく活動や会員事業者の紹介を行い、meccの認知拡大になりました。

●日時：2020年6月14日（日）15時00分～、21日（日）19時10分～ ●会場：オンライン開催 ●観覧数：2,050名
●協賛プログラム：キャンドルづくりオンラインワークショップ supported by mecc



meccファームの野菜を配布

2020年度から農地を借り「meccファーム」として、農業体験や収穫物の販売を行う事業を始めました。当初収穫した野菜は新橋駅前SL広場で販売する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。そこで2020年度は、収穫した野菜を希望する会員事業者へ無料配布しました。品目は白いトウモロコシとジャガイモ3種類。収穫の都合で2週に分け配布を行いました。1週目は直接mecc事務局へ来館頂いた方と浜松町駅周辺の事業者へ台車でデリバリーし、2週目は車を手配し希望事業者のオフィスを周り配布しました。個人のほか、オフィス内で配布を行った事業者もありました。野菜配布を通して多くの担当者に会い、meccファームの周知や、近況のヒアリングが出来る機会にもなりました。



●配布日時:2020年7月20日(月)～22日(水) 10時00分～17時00分、7月29日(水)～31日(金)
10時00分～17時00分 ●配布場所:港区立エコプラザ mecc事務局
●配布内容:トウモロコシ(ピュアホワイト)約500本、ジャガイモ(キタアカリ、アンデスレッド、シャドークイーン)各70kg ●協力:ベジリンク



参加事業者の声
スズデン 手塚氏

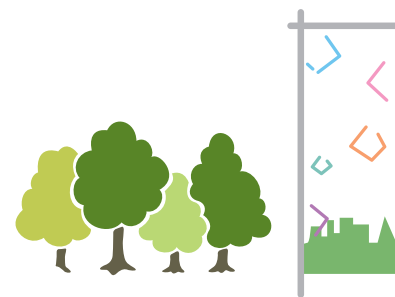
新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で配布実施し、当日は配布開始後約20分でお野菜は全て空になりました。社員へ配布する際、“meccファーム”や“たがやす倶楽部”についても周知を行いました！



参加事業者の声

長谷工コーポレーション 山本氏

この度はmeccファームの野菜配布ありがとうございました。普段はあまり目にする機会の少ない珍しい品種もあり、従業員一同、大変おいしくいただきました。今度はぜひ収穫体験も一緒に出来ればと思います。



総会を書面にて開催しました

1年に1度会員事業者が一堂に集まる総会では、通常であれば、区長やmecc会長からのご挨拶をいただき、セミナー、新年度のスケジュールや各会員事業者の動向や活動紹介を行なっていましたが、コロナ禍により書面にて開催をしました。はじめての試みであり、開催前に会員事業者とオンラインにてmeccの活動の方向性など、ヒアリングを行い、きめ細かく打ち合わせを重ねました。また2020年度の新規会員事業者（株式会社カーサフライン、トヨタモビリティ東京株式会社、薬樹株式会社）の3社については、新規会員事業者紹介のチラシを作成し、会員事業者に配布するとともに紹介を行いました。



2020年度活動事業のイベント

6月14日、21日	J-WAVE 100万人のキャンドルナイト (※)
6月15日	総会 (書面開催)
7月4日	mecc農業体験ツアー
7月20日、29日	meccファーム 野菜配布
8月20日	みなと打ち水大作戦 打ち水デリバリ
9月15日	第1回みなとSDGs
9月16日	meccツアー
10月23日	企業と環境展2020 (※)
11月10日	第2回みなとSDGs (※)
11月28日	スガGOI大会inみなと
1月4日～26日	meccEXPO
1月19日	第3回みなとSDGs (※)

※印はオンラインで実施

中止事業

5月	エコライフ・フェアMINATO2020 エコバザー
6月	meccセミナー
7月	みなとクリーンアップ大作戦
8月	みなと打ち水大作戦 (日比谷、ハマサイト、赤坂、竹芝)
10月	みなと区民まつり エコバザー
10月	企業と環境展 親子ワークショップ、U-25、 フォトギャラリー
12月	MINATOシティハーフマラソン2020 (協賛)



フードロスの解決に向けて循環農業”を畑で学ぶ

mecc農業体験ツアー

2020年度から農地の一部を「meccファーム」として借り上げ、農業体験や収穫物の販売を行う事業を始めました。その第一段としてmecc農業体験ツアー「フードロスと農業体験」を行いました。畑の土は、山武市から出た森林の間伐材チップや、地元農家から出た落花生の殻などの野菜クズ、企業や食品工場から出た食品残渣を堆肥化し、有機質資源として畑へ戻し循環させるという取り組みが行われていました。畑に入る前まで雨が降っていましたが、足元がぬかるむことなくフカフカで土壌の違いも体感することができました。収穫体験では、生で食べられる白いトウモロコシや空芯菜、ジャガイモなどを採りました。無農薬栽培なので虫に食われている葉もありましたが、トウモロコシはその場で皮をむき食べることができ、その甘さと水々しさに驚きの声が上がっていました。昼食は畑で採れた米や野菜の料理が並び交流の場にもなりました。座学では有機栽培や土作りの循環モデル創設の経緯などを聞き、堆肥場の見学も行いました。

今回は、新型コロナ感染拡大防止の観点から、参加者数を制限、人数に対して大きめのバスを手配し、窓際に1名ずつ着席しソーシャルディスタンスを図り実施しました。



写真左)昼食に並んだ野菜は彩り豊かで味もしっかり！自然の恵みをたっぷり味わうことが出来ました。写真中)企業や近隣農家との協働モデルの好例ともいえる“堆肥場”。発酵した堆肥は匂いもなくじんわりと暖かい。写真右)昼食の様子

- 日時：2020年7月4日（土）10時00分～16時30分
- 実施場所：千葉県山武市 たがやす倶楽部 完一農場内 meccファーム
- 参加事業者：トヨタモビリティ東京、明治学院大学、森ビル、港区、mecc [計9名]
- 協力：ベジリンク



参加事業者の声
明治学院大学 鈴木氏

食品廃棄物等を堆肥とする土づくりを軸に、化学肥料を使わない“持続可能な農業”をめざす齋藤さんの畑は驚きの連続でした。コロナ収束後は、SDGsに関心が高い本学学生にも、自然の土の柔らかさを体験してほしいです。



打ち水セットをオフィスへお届け！

みなと打ち水大作戦→打ち水デリバリー

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、多くの会員事業者を集めた合同開催を見送り、希望事業者へ打ち水セットを届け、単体で実施頂く「打ち水デリバリー」という形で行いました。

港区役所では、環境リサイクル支援部地球温暖化対策担当の方々が参加しました。午前中から30度を超える暑さの中での実施でしたが、ゴーヤのグリーンカーテンを背に、放たれた打ち水は見た目も涼しく感じる光景でした。

トヨタモビリティ東京は多くの営業所を持つ事業者です。コロナ禍の新たな試みとして、一箇所に大人数で集まらず本社と三田店をオンラインで繋ぎ、モニター越しに一斉に打ち水を行う「リモートde打ち水」を実施しました。冒頭、片山社長から「新たな生活様式(ニューノーマル)に対応し、新たな手法や施策にチャレンジしながらSDGsに貢献していきたい」という挨拶がありました。その後進行の合図で打ち水開始。お互いの様子をモニターで見たり話しかけたりするなど、リモートならではの光景があり、新しい打ち水の好事例が出来ました。

両会場とも、打ち水用の水は芝浦水再生センターの二次利用水を利用しました。



写真左)午前中から30度越え。朝早くから陽が当たり熱を蓄えていた港区役所の石畳は、打った水があつという間に乾いてしまいました。写真右)トヨタモビリティ東京・本社前の会場には片山社長も参加。



参加事業者の声
港区 生駒氏

コロナ禍で少ない人数でしたが、港区役所正面玄関前で打ち水を行いました。ここは毎年、職員が緑のカーテンを育てている場所で、見た目も含めて涼を感じることができました。

<港区役所>

- 日時：2020年8月20日（木）10時15分 打ち水開始 10時30分 終了
- 会場：港区役所 正面玄関前 [計5名]

<トヨタモビリティ東京>

- 日時：2020年8月20日（木）16時00分 打ち水開始 16時15分 終了
- 会場：トヨタモビリティ東京 芝浦本社、三田店 [計11名]



参加事業者の声
トヨタモビリティ東京 齋藤氏

江戸時代から伝わる“打ち水”を令和のニューノーマルに対応した“リモート”で繋いで実施するという新旧様式のコラボが実現しました。今回はコロナ禍で少人数の実施でしたが、有意義な取り組みになりました。



未来とつむぐ 新しい港区へ

みなとSDGs

みなとSDGsは、2019年度から開催している新しいイベントです。最新のSDGs情報に加え、企業だけでなく住んでいる区民や行政と一緒に様々なアイディアを出し合います。2020年度は4回開催しました。オンラインになり参加者が減少しましたがグループワークでは意見交換が積極的に行われました。

第1回に登壇いただいた環境省・佐々木氏からは「環境で地域を元気にする地域循環共生圏」をテーマに講演いただき、新型コロナで様々な影響があり、一極集中・過密都市のリスクが顕在化したことで、アフターコロナ・ウィズコロナ社会に向けた考え方「自立分散型社会」を提言されていました。そのため地域資源を生かし、地域の特性に応じて補完、支え合う「ローカルSDGs」の大切さを紹介いただきました。

■第1回「地域でSDGsを進めるために必要なことは？」

登壇者：サステナブルラボ株式会社 代表取締役 平瀬氏
環境省大臣官房環境計画課 企画調査室長 佐々木氏
港区観光協会アドバイザー 三宅氏

■第2回「サーキュラーエコノミー」から考えるSDGs

登壇者：奥野 光久氏（一般社団法人ゼロ・ウェスト・ジャパン 職員）

■第3回「サーキュラーエコノミー」×「観光」ホテルでできるSDGsアクションを考えよう！

登壇者：中裕樹氏（NPO法人 グリーンバード監事）、来馬宗憲氏・宇野全智氏（宗教法人 曹洞宗、東京グランドホテル）

■第4回「SDGs×サーキュラーエコノミー レストランでできるアクションを考えよう！」

登壇者：瀧田 桃子氏（IDEAS FOR GOOD Business Design Lab 事業開発担当）
福田 聖太郎氏（国土交通省観光庁 外客受入担当参事官室）
生江 史伸氏（レフェルヴェンソンズ シェフ）



各回の登壇者は1～3名で企業だけでなく、NPOや行政からもゲストをお招きしました。今後の港区を考える良い機会となり、様々なアイディアが生まれました。アイディアは実現できるように連携を続けていきます。区民と企業と行政をつなぐ架け橋になるよう、引き続き2021年度も開催予定です。

- 日時：第1回/2020年9月15日（火）18:00～20:00、第2回/2020年11月10日（火）18:00～20:00、第3回/2021年1月19日（火）18:00～20:00、第4回/2021年3月9日（火）18:00～20:00
- 参加事業者：NECキャピタルソリューション、NJS、オイシック・ラ・大地、新正堂、スズデン、東京ガス、トヨタモビリティ東京、日本通運、港区、森ビル、リコージャパン



参加事業者の声
森ビル 浅野氏

SDGsを身近な視点で継続的に考えていくイベントなので、社内告知もしやすく参加を促すことができました。実際に参加することで、港区に関わる様々な方々の視点を理解する貴重な機会にもなります。今後も、こうした活動を通して港区のSDGs活動がより発展していくことを願っております。



ボートに乗って、港区の運河を学ぶ

meccツアー

観光戦略アドバイザー・山野道彦氏を講師に招き、交通、都市開発、観光と多方面の切り口で解説いただきました。最初に浜松町駅から文化放送ビルへ渡るデッキから昔の地形や交通網の移り変わり、駅周辺の再開発プランなどの解説がありました。その後ボートの乗船地となる「ウォーターズ竹芝」まで散策し敷地内にある「竹芝干潟」の視察を行いました。海岸砂丘には塩に強い塩性湿地植物が植えられ、砂は、青森県のあさり養殖を行っている場所と同じ砂を使い、目指す生態系に近い環境作りがされていました。現在ではカニやハゼなどの生育が確認されているそうです。ボートに乗船後、「カニ護岸」や「カルガモ営巣」など生態系を守る取組み、水上タクシーや防災船着場などを視察しました。また、港区のランドマークを運河側から見たり、鉄道の陸橋の下をくぐったりと、普段と違う目線で景色を楽しむことも出来ました。下船後は天王洲アイルを散策し終了しました。今回は新型コロナウィルス対策として、ボートの定員を半数に減らし交互に座するなどソーシャルディスタンスを守り実施しました。



写真左)出発は浜松町駅から。港区観光マップを見ながら周辺の地理を理解しスタート。写真中)柵の下には空洞があり鳥などの外敵から魚を守る、目に見えない取組みも。写真右)運河側から見る港区のランドマーク。

- 日時：2020年9月16日（水）11時00分～13時00分
- 場所：浜松町駅周辺、ウォーターズ竹芝～ヤマツピア桟橋、天王洲アイル
- 講師：山野道彦
- 参加事業者：東京ガス、トヨタモビリティ東京、森ビル、リコージャパン、港区、mecc [計12名]



参加事業者の声
リコージャパン 鳴島氏

浜松町駅の喧騒からほど近い場所に「竹芝干潟」があり、生物が棲みやすい環境が作られ、生物の営みが確認できることに驚きました。ボートに乗船し、普段は橋の上から見ていた川を運河側から視察して生態系を守る取組みを知る貴重な体験で企業としても地域貢献していきたいと感じました。



発信する

2020
10.23

企業と環境展はオンラインにて開催

企業と環境展（シンポジウム・会員事例発表）

毎年、六本木ヒルズで開催している企業と環境展ですが、コロナ禍の影響により、2020年度はオンラインにて開催をしました。

最初に、小柳津港区副区長から、「コロナの影響があるが、新しい生活様式に対応する様々な活動へつなげてほしい」と開会のご挨拶をいただきました。シンポジウムは、CSR/SDGsコンサルタント 笹谷秀光氏よりご講演をいただきました。

日本でのSDGs活動は年々スピードが上がってきており、SDGsがESG投資に大きく関係してきていることや、経済価値と社会環境を結びつけ、SDGsをツールとして、企業ブランドをデザインし企業価値を高めていくことが必要であると述べられました。会員事例紹介は、薬樹株式会社 照井敬子氏から講演をいただきました。同社の経営する薬樹薬局では、「健康さんじゅうまる」をモットーに。会社の取組みをSDGsの17のゴールに当てはめて幅広く活動していました。SDGsの活動を進めることで、世界共通の価値観を上げ、お客様から選んでもらえるような会社を目指しているそうです。

- 日時：2020年10月23日（金）15時00分～16時20分
- 会場：港区 エコプラザ
- プログラム
 - 15:00～15:10 開会の挨拶（mecc会長 小柳津 港区副区長）、
 - 15:10～16:00 シンポジウム
 - 「ビジネスと関係者連携の新常識、SDGsを使いこなす -SDGs軽視の怖さを知ろう-」
 - 登壇者：CSR/SDGsコンサルタント 笹谷秀光氏
 - 16:00～16:20 mecc会員事業者 事例紹介
 - 「健康さんじゅうまる」に基づくSDGs推進
 - 登壇者：薬樹株式会社 SDGs推進担当マネージャー 照井 敬子氏



配信は、zoomとYoutubeにて行いました。当日は、50名以上が視聴し、様々な場所からアクセスできる配信のメリットがありました。また新型コロナウイルス感染症対策のため、講演者もオンラインにてつなぎ、講演をいただきました。
写真左)配信画面 写真中)挨拶される小柳津会長 写真右)配信機材



参加事業者の声

レッグス 二俣氏

分かりやすい内容で、社内への落とし込みの参考になりました。お陰様で本年より本格的にSDGsに取り組む事が決まりました。今後もSDGsに関するイベントに期待しています。



参加事業者の声

東京ガス 堀田氏

初オンライン講演会、たいへんお疲れさまでした。先生のお話からは、日本の中心に位置する港区（行政・企業）への期待がとても大きいと感じ、また、薬樹さんのお話は、まちの人々に寄り添った、とても好感が持てる取り組みであると感じました。



活動する

2020
11.28

重さだけではない!高ポイントのゴミで一発逆転

スポGOMI大会 in みなと

会員事業者だけでなく区民やNPO団体なども参加する地域連携イベントに成長し、7年目を迎えた今年度も初参加と常連チームの熱い火花が飛び交いました。今回は感染症拡大防止策として一部ルールを変更し、軍手の着用と、ゴミは全てトングで拾うことを義務づけて実施。また、開始の合言葉「GOMI拾いはスポーツだ!」のかけ声は大声で呼ばずアナウンスに合わせ拳だけ挙げる対応にしました。

例年は100kg前後のゴミが拾い集められていましたが、会食・外出自粛などの影響がゴミが少なく苦戦を強いられました。優勝は一般参加のNPOチーム。ゴミが少なかった中で、8.1kgと健闘し3年目の参加で念願の優勝トロフィーを手に入れました。1位～3位には表彰状の他、港区提供の「間伐材ボールペン」と東京ガス提供の「マグネット」が贈られました。今年は幼稚園児から小学生の参加もあったので特別賞として「たくさん歩いたで賞」を設けお菓子の詰め合わせとベネッセコーポレーション提供の「しまじろうタオル」を贈りました。また、参加者全員に記念品として「打ち水お作法手ぬぐい」を配布しました。

分別回収されたゴミは、可燃20.9kg、不燃15.55kg、ビン缶16.22kg、ペットボトル206本、タバコの吸い殻2.56kg、合計55.23kg(去年は94.99kg)でした。



写真左)ドキドキの計量タイム。分別したゴミの種類ごとに重さを測りポイント化、順位が決まります。写真中)疲労感と充実感が混じった表彰式 写真右)大人たちを相手に1時間歩きたくさんのゴミを拾った子どもたちには、特別賞を贈りました。



参加事業者の声

ソニーミュージック 新保氏

以前から会社周辺の清掃活動は実施していましたが、「スポGOMI大会」も参加したいと思っていました。開始早々に競争心が芽生え1位をとるぞ!と気分も上がって、ごみを拾うことが楽しくなり、みんなで協力しあい、若手とも一体感が生まれました。今後も継続的に参加したいです。

- 日時：2020年11月28日（土）10時00分～12時00分
- 会場：JR新橋駅周辺
- 共催：港区
- 参加事業者：ソニー・ミュージックエンタテインメント、東京ガス中央支店、PHC、港区環境課、レッグス[合計16チーム75名]



発信する

2021
1.4-26

会員事業者の取組みを一堂に展示

—
mecc EXPO

1月4日～1月26日の1ヶ月間、港区立エコプラザにて、会員事業者の取組みを区民に発信するイベント「mecc EXPO」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で環境活動やCSR活動が制限され、当初は展示に相応しい活動内容が見つかりにくいと苦慮する会員事業者もありましたが、最終的にはスペースが全て埋まる見応えのある展示となりました。事業者自体の環境の取組みや、NPOと連携した取組み、クイズ式のパネル展示など様々な趣向の展示があったほか、meccの打ち水やゴミ拾いイベントのコーナーを設置し活動をアピールしました。打ち水コーナーでは「打ち水お作法手ぬぐい」の配布も行い来場者に好評でした。また、会員事業者のソニークリエイティブから「三丁目のタマ」とペンギンキャラクター「ピングー」を提供いただき、子ども目線にもパネルを展示し楽しく学べるような工夫も行いました。会場は中央に椅子とテーブルを配置して、冊子などを座って観覧できるスペースを作りました。緊急事態宣言中で来場者は多くありませんでしたが、区民の方など幅広い年齢層が熱心に会員事業者の取組みを見たり、パンフレットを持って帰る姿がありました。

- 日時：2021年1月4日（月）～1月26日（火）
- 会場：港区立 エコプラザ 1階 展示スペース
- 展示協力：アクセンチュア、NECキャピタルソリューション、オイシックス・ラ・大地、鹿島建設、カワセ印刷、ソニー・ミュージックエンタテインメント、東京ガス、西松建設、日本通運、博報堂、文化放送、ベジリンク、三井倉庫ホールディングス、港区、みなと環境にやさしい事業者会議(mecc)、明治学院大学、森永乳業、森ビル、薬樹、ROSSO [合計20事業者]



毎年様々な趣向で作られるパネルや配布物。会員事業者の最新の取組みを知ることが出来ます。meccのイベントコーナーでは、打ち水やゴミ拾いで実際に使っているのぼりや用具などを展示し好評でした。



参加事業者の声
薬樹 照井氏

記事と写真が中心の展示でしたが、私たちの活動を身近に感じていただけるよう、お子さん向けWSを開催する予定だった間伐材製鉛筆や、岩手の広葉樹を素材としたオリジナルSDGsバッジを展示しました。手にとってご覧いただいた方も多くいらっしゃったと伺い、嬉しく思っております。



参加事業者の声
ベジリンク 富松氏

今年度、持続可能な農業をしている千葉県の斎藤完一さんと共に『meccファーム』を運営しました。コロナ渦で都市生活に新しい様式を取り入れていく中、弊社の情報を発信出来たのは大変有意義なものだと感じました。



みなと環境にやさしい事業者会議
minato eco-conscious consortium

meccは、地域、区民、企業が一体となり
学ぶ・活動する・発信することで
新しいアイデアがカタチになる
活気ある場を提供しています。
mecc会員になって、一緒に活動しませんか？

meccに参加するには？

- みなと環境にやさしい事業者会議は企業の環境活動、CSR活動、省エネ活動などの問題点に地域、区民、企業が同じ立場にたち、業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場になりたいと思っています。
- 環境に対する、互いの意識を高めあえる場に、そして、アイデアが次々にカタチになっていく活気のある場を提供しています。
- また、会員事業者の皆様における地球環境問題の解決に向けた積極的な取組みを支援しています。

「みなと環境にやさしい事業者会議」のめざすところ

- 地域をコアに地球規模でひろがる環境情報の受発信基地
- CO2削減に向けた全国に先駆ける「みなとモデル」の創出
- 各事業者のCSR活動に還元できるコンソーシアムとしての取組み
- 業種を超えたユニークな協働のネットワークの社会実験

- 入会資格 「みなと」にかかわりがあり、地域社会と地球環境への貢献に関心のある事業者。事業規模の大小、法人の形態（株式会社、各種機関、NPO、個人事業者等）を問いません。
- 年会費 5万円（1口）◎会費等は、事業運営費等に充てられます。
- 主な取組み ・総会の開催（年1回） ・「企業と環境展」の開催（年1回）
・分科会の開催（事業の内容に応じて） ・各イベントの実施（打ち水、クリーンアップなど）
・meccセミナーの開催 ・meccツアー（視察・見学ツアー）の実施
・みなとSDGs ・スゴGOMI大会

●2020年度mecc会員一覧

アクセンチュア株式会社
 あすか製薬株式会社
 株式会社安藤・間
 NECキャピタルソリューション株式会社
 株式会社NJS
 オイシックス・ラ・大地株式会社
 株式会社大林組
 株式会社カーサフライン
 笠井設計株式会社
 鹿島建設株式会社
 カワセ印刷株式会社
 サイオス株式会社
 サントリーホールディングス株式会社
 株式会社シュガーアンドスパイス
 昭和電工株式会社
 新正堂
 スズデン株式会社
 世紀東急工業株式会社
 一般財団法人 世界聖典普及協会
 株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
 株式会社ダイフク
 株式会社知識経営研究所
 都築電気株式会社
 DSM株式会社
 テクノプロ・ホールディングス株式会社
 東京ガス株式会社 東京中支店
 株式会社東京フォレストパワー
 株式会社TBSホールディングス
 トヨタモビリティ東京株式会社
 西松建設株式会社
 日本通運株式会社
 日本道路株式会社
 一般社団法人 日本自動車連盟
 日本たばこ産業株式会社
 日本電気株式会社
 株式会社博報堂
 株式会社長谷工コーポレーション
 PHC株式会社
 日比谷総合設備株式会社
 フィリップモリスジャパン合同会社
 株式会社プロネクス
 株式会社文化工房
 株式会社文化放送
 株式会社文星閣
 株式会社ベジリンク
 株式会社ベネッセコーポレーション
 本田技研工業株式会社
 丸新運輸株式会社
 三井倉庫ホールディングス株式会社
 港区
 明治学院大学
 森永乳業株式会社
 森ビル株式会社
 薬樹株式会社
 ヤマハ株式会社
 リコージャパン株式会社
 株式会社レッグス
 株式会社ROSSO

58事業者（50音順）

●meccカーボンオフセット

meccでは、会員事業者向けのサービスとして、カーボンオフセット用の二酸化炭素の排出権を2008年に100トン分購入しました。すでにさまざまな事業活動（報告書印刷、イベント運営等）のオフセットにご活用いただいています。2019年度末までの償却分は57トンとなっており、2020年度以降の償却分として43トンが持ち越されています。

使用実績

- ◎ イベント運営／エコライフ・フェアMINATO
- ◎ 印刷物製作／mecc活動報告書（本誌）

mecc会員事業者であれば、mecc保有のカーボンオフセットをご使用いただけます。ぜひご活用・ご相談ください。



この印刷物は、環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場で作りました。森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立つ「森の町内会・間伐に寄与する紙」、VOC発生量を低減できる「植物油インキ」、イソプロピルアルコール（VOCの一種）等を含む有害廃液を出さない「水なし印刷」を使用しています。また、CTP（Computer to Plate）方式の採用により製版用現象液やフィルムを全廃しています。



みなと環境にやさしい事業者会議 2020年度 活動報告書

発行 みなと環境にやさしい事業者会議
 〒105-0013 東京都港区浜松町1-13-1 エコプラザ内（3F）
 TEL 03-6806-9280 FAX 03-6806-9282
 Mail info@mecc-minato.net

発行日 2021年4月19日

製作 みなと環境にやさしい事業者会議 事務局